

# 工業高教員が技術磨く

## 田辺で講習会

県内から16人

県内の工業高校教員を対象にした技能講習会が9日、田辺市あけぼの、田辺工業高校であった。6校から16人が参加し、指導力向上に向けて機械加工などの技術を磨いた。

県労働政策課が昨年度から、教員に生徒を指導するための技術を身に付けてもらい、技能検定の普及につなげようと開いている。本年度からは県高校教育研究会工業部会が主催に加わった。

参加者は普通旋盤作業とシンナーケンス制御作業に分かれ、高度な技能を持った指導者「ものづくりマイスター」に教わった。同マイスターは厚

「ものづくりマイスター」(右)から、機械加工の旋盤作業を教わる教員9日、田辺市あけぼのの



生労働省が認定している。旋盤作業では、技能検定3級の試験内容で鋼を加工。基本的な機械の取り扱いから説明を受け、加工技術を学んで吸収した。サポート役として田辺工業高の教員も指導に入った。田辺工業高の卒業生で、現在は紀央館高校(御坊市)で講師として旋盤や溶接を教えている岩橋敏樹さん(29)は「講習会で覚えたことを実習で生徒に教えたい。技能検定の取得を目指す生徒は今のところいないが、実習で教えることで出てきてくれれば」と話した。